

～～第8612回～～

赤倉温泉スキー場

～H31. 1. 27-28～

1月27日曇り。安倍川駅前を5:00に出発、国道1号線を走り清閑町、白鳥スポーツ前、清水ICで待ち合わせの人たちを乗せて東名、新東名を乗り継ぎ52号線を北に走る。昨夜降った雪が信州中野ICを過ぎたあたりから雪が路面に現れる、慎重な運転が要求される、制限速度は50km/Hである。そんな中でも順調に走れて妙高高原ICを9:30ごろには降りられた、高速道路を降りると赤倉温泉までは8分、この便利さは赤倉温泉の魅力でもある。先ずホテルについて休憩所で着替えをしてゲレンデに出る。宿の赤倉パークホテルはゲレンデから300mと離れていて巡回シャトルバスを使って、ゲレンデの南側、ヨーデルゲレンデに入る11:10。ヨーデルゲレンデ最長、1386mのリフトに乗る、リフトからの景色は、積雪が3m、そして昨夜の雪が木々に着いて木々に花が咲いたようだ、素晴らしい銀世界を見せてくれた。ちらほら降っていた雪も上がり所々に青空が覗く。初滑りは林間のエレガントコース、圧雪した後に雪が積もったのか圧雪のV字の溝がすっかり隠れている。しかし新雪の雪は軽く心地よいシュプールを描ける。赤倉温泉スキー場は広いゲレンデ、14本あるリフトを次々と乗り換えていろいろなコースを楽しめる、そして初級コースが60%と我々の技量に適したゲレンデである。新しいコースに移りつぎつぎに滑る、昼食と休憩を適当に入れる、それほど混んではない、日曜なのでせいぜい午前中なのかゆったり楽しめる。気温が下がり雪質が固くなってきた時計を見ると16:30。宿の温泉が恋しくなり今日の滑りはここまでと打ち切り、宿にかえる。冷えた体を温泉で温める。

1月28日曇り。2日目の天気が気になったがきょうも、妙高山が良く見える、青空も見える。7:30からの朝食はバイキングだった、40人ほどが食事をするが日本人は我々だけではないか、背が高く、190cmも、あるような人たちに交じり食事をする風景は、日本とは思えない、スキー場の変わりように驚く。リフトの動き出す8:30にできるだけ早くゲレンデに出たいと、朝食の前にストレッチを行う、気が急ぐ。今朝はシャトルバスがゲレンデ北側の、くまどーゲレンデ側への巡回に乗れた8:50着。くまどーゲレンデ、第一クワッド1068mに乗りカラマツコースが1本目の滑りだ、圧雪直後で我々だけのシュプールが描ける。この滑降でターンで上がる雪煙を上げる、気持ちよさは格別だ。今日は月曜日、お客も少なくゲレンデを広々と使える。そして新しいコースに次々と移動して、今日の半日リフト券をフルに使える。休憩を惜しみ滑るが終わりの時が来る、最後の1本を設定12:30にはゲレンデを後にした。宿に戻り、帰り支度をして13:20宿を出る。昨日は道路に雪があったが、溶けてアスファルトが現れ運転の心配が少ない、青空が覗いて明るい雪の壁の中を走り妙高高原ICに乗る、途中信州中野ICを降り土産を手にして、小布施で昼食を摂り静岡駅前19:00。車を返して安倍川駅前19:40。雪国の天気ながら青空の覗く天気に恵まれ楽しいスキーであった。

参加者：9名（静岡北 2、静岡東 3、静岡西 3、藤枝 1）

天候：1/27 曇り 1/28 曇り

地図：赤倉

記録：静岡西支部 福永